

会議	第1回 坂井市行政改革推進協議会		記録	承認
日時	令和5年11月7日 (火) 午後2:00～		事務局	財政課 高倉課長
場所	坂井市役所 1階 交流ホール			
出席委員	井上会長、赤土委員、牧野委員、半澤委員、関委員、鹿島委員、高野委員、佐藤委員、柏山委員			
欠席委員	刀根委員、平田委員			
事務局	新開副市長、小川財務部長、高倉財務部次長兼財政課長、奥出総務部次長、野路行政改革参与、財政課福田課長補佐、同課近間課長補佐、同課小林課長補佐、同課水島主査 三上総合政策部次長兼移住定住推進課長、松本空家対策室長			
資料	資料1 坂井市の現状 資料2 坂井市行政改革の取組状況 資料3 空き家対策事業について			
I 開会	1 委員委嘱	財政課長	<p>坂井市行政改革推進協議会を開催いたします。本日の進行担当いたします、財政課高倉と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日はお忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。会議次第に従いまして、進行させていただきます。</p> <p>はじめに、行政改革推進協議会の委嘱を行います。前任の委員の方の後任といたしまして、今回委嘱される方は3名でございます。副市長より委嘱状を交付いたします。</p> <p>(委嘱状交付)</p> <p>では、会議次第の3でございますが、井上会長からの招集のご挨拶をいただきまして、その後会長の進行で進めていただきたいと思います。井上会長よろしくお願いいたします。</p>	
	2 会長あいさつ	井上会長	<p>皆さんこんにちは。</p> <p>本日はお忙しいところ、令和5年度第1回坂井市行政改革推進協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>また今ほど委員に就任いただきました、牧野様、関様、よろしくお願いいたします。コロナも明けまして、間もなく北陸新幹線がやってくるということで、先週と今週NHKのプラタモリという番組でも、福井が取り上げられて、非常に機運が盛り上がっているなということを実感しております。</p> <p>非常に地域にとっては、またとないチャンスだというふうに思っております。一方で今日お話あるかと思えますけれども、坂井市の人口でありますとか、その他の議題でございます空き家等々ですね、これまで様々な課題</p>	

I 開会	2 会長あいさつ	井上会長	<p>があったかと思いますが、坂井市の持続を保っていくためには、どうしても係わっていかねばいけない問題というものが、まだまだたくさんあるのかなと思っておりますので、この行政改革、市民サービスをより効率的に進めるための体制をどう考えていくのかということで、今申し上げた課題にも大きく関係するかと思っておりますので、引き続き皆様からご意見を頂戴して、よりよい行政の推進にお力添えをいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。</p>
II 会議	<b>【協議事項】</b> 1 坂井市の現状について	井上会長	<p>それでは、次第に基づきまして進めさせていただきます。円滑な進行にご協力をお願いしたいと思います。</p> <p>本日、協議事項が2件、それからその他1件となっております。まず協議事項の1番ございますが、坂井市の現状についてということです。資料1の説明を事務局からお願いしたいと思います。</p>
		財政課	<p><b>【資料1】坂井市の現状</b></p> <p>1 人口の推移と将来予測について説明</p> <p>2 財政の状況について説明</p>
		井上会長	<p>人口と財政の説明をいただきました。どちらでも結構ですので、お気づきの点、わからない点などございましたら自由にご意見ご質問等いただきたいと思っております。いかがでしょうか。</p>
		井上会長	<p>先ほど説明がありましたけれども、競艇からの収益をその他特定目的基金に積み立てていて、令和2～4年と結構な規模で増えているという気がします。</p> <p>今後も毎年こんなに増えるのか、もう一つは特定目的なので、使い道はどのように決まっているのでしょうか。</p>
		財政課長	<p>競艇事業が好調なことから、昨年度25億円を繰り入れて頂いております。競艇場の今後の収益の見込はなかなか難しいと思われませんが、今年度がひとつのピークではないのかなと思っております。</p> <p>目的についてはまちづくりに資するハード、ソフト事業に使わせて頂いております。</p>
		委員	<p>人口を増やすという目的でご説明のあった結婚への援助、移住、雇用ということですが、先日、越前市においても村田製作所が新幹線の武生駅に大きな工場を建て雇用を行うというニュースがありましたが、実際に坂井市で結婚応援の申請や移住への実績がどれだけあったかを教えてもらえますか。</p>
		財政課長	<p>現在、数値を持ちあわせておりませんので、確認して回答させていただきます。</p>
		井上会長	<p>はい、ではその間にどなたかご質問ありましたら願</p>

II 会議	【協議事項】 1 坂井市の現状について	井上会長	いします。
		委員	4 ページの市債残高についてお尋ねいたします。病院事業で H19 には残高が 36 億円あったが 19 億円に下がった理由と、その事業の明細もわかったら教えていただきたいです。
		財政課長	建設に伴って市債を借入れし、その残高が減っているというものです。また途中に医療機器の購入に伴う借入もあり、その残高の減少によるものです。
		井上会長	おそらく以前大きな投資があったんですけど、ここ最近は小さなところでの更新などがされていて、以前の返済の方が多く進んでいるので残高が減っているということなのだと思います。具体的にどの設備かは分かりませんが。
		財政課長	医療器械ですと電子カルテで、事業費としては 4 億円弱でその分は借入が増えているというところですか。
		委員	これは具体的にどこの病院になるのでしょうか。
		財政課長	三国病院となります。
		井上会長	他にいかがでしょうか。
		行政改革参与	先ほどの企業誘致につきましては、次の資料 2 の 7 ページの 35 番にありますように、年度ごとの企業誘致の件数がございます。それぞれ、平成 29 年は 1 件、平成 30 年は 9 件、令和元年は 5 件、令和 2 年は 5 件、令和 3 年は 7 件、令和 4 年は 2 件となっており企業誘致の実績が分かります。 先ほどの結婚の実績については今年度始まった事業ですので、その実績についてはこれからということでご理解をお願いしたいと思います。
		副市長	企業誘致に関して若干補足させていただきます。坂井市への企業誘致の一番の場所は、ご存知の通りテクノポート福井となっています。 ただそれ以外の平坦な場所があるのに、なぜ誘致できないのかというご指摘もいただいているんですが、平成 10 年から始まりました九頭竜川鳴鹿パイプラインの整備が平成 31 年に 20 年かかって完了しているんですが、国の手続き上、完了しましてから 8 年間は農業振興地域からの除外が規制されるということがありまして、ちょうどその真っ只中でございます。 そのような制約がございまして、本当は大きい道路沿いか、北陸自動車道沿線、国道 8 号線沿線で誘致をしたいという希望を十分持っていますが、農業振興地域の除外の手続き、あるいは転用の手続きに制限があるということで、非常に悩ましいという意識でいるということ

II 会議	【協議事項】 1 坂井市の現状について	副市長	で、ご理解いただけると非常にありがたいと思っております。
		井上会長	他にいかがでしょうか。
		委員	資料1の5ページに、将来負担比率あるいは実質公債比率がありまして、それに対する目標値が右のほうにあるんですが、現状及び令和4年度の決算の数値と比べると目標値の数値が大変甘い数字というか、優しい数字になっているが、これはどう解釈したらいいのですか。
		財政課長	この目標値ですが、国が示す目標値ということで、それぞれ将来負担比率、実質公債比率、それから財政調整基金のほうは、各市町での設定ということで、大体標準財政規模といわれます、おおよそ自治体が一般的に収入できる特定財源を除いた収入の10パーセントということで、多くの市町がこのような数字を掲げております。 委員おっしゃいました通り、かなり乖離した数字となっておりますが、この数字を超えるような財政状況となれば、夕張市のような破綻に近い財政状況となりますので、そのような見方での数値かと思っております。
		井上会長	とらえ方はいろいろあると思うんですね。目標は確かに緩やかという気はするんですけども、決してそれに甘んじることなく財政規律は保たれていると捉えることもできると思いますし、また今国の方では減税とか還元みたいな話がありますけど、この目標に十分達成できているんだから、市はお金を貯めなくても市民に還元してくださいみたいな声が出てきたときにどう対応するかというのはまた検討しなきゃいけないのかなと。行革の見地からすると必要な分は必要だと思いますけれど、あまりやりすぎるのもよくないのかなと思っているので、それは今後の状況等も見据えて、この会としても何か述べる必要があれば述べるべきかと考えております。 他にいかがでしょうか。 よろしいですか。 人口、財政に関してはこの行革のとても大事な部分になりますので、またその都度ご意見等いただければと思います。 よろしく願いいたします。
【協議事項】 2 坂井市行政改革の取組状況について	井上会長	それでは続きまして協議事項の2でございまして。坂井市行政改革の取組状況についてということで、資料2となります。 説明を事務局からお願いいたします。	
	財政課	【資料2】坂井市行政改革の取組状況について説明	
	井上会長	ありがとうございました。 資料2の項目がたくさんあって、その中の一部のご説	

II 会議	【協議事項】 2 坂井市行政改革 の取組状況について	井上会長	明でしたので説明のなかった全体に関しましても 何かお気づきの点あればご質問いただきたいですし、また実施計画も別にお配りされていると思いますので、その内容に関しましても何かご不明の点、お気づきの点ございましたらお願いしたいと思います。 いかがでしょうか。
		委員	マイナンバーカードですけれど、最近病院へ行くとマイナンバーカードを出してほしいとか、保険証を出してほしいと言ったり、どっちかにしてほしいと思うんですけれど、坂井市のこの数字は 67 パーセントということですかね。 いろいろと各地でマイナンバーのミスがあったということではありますが、坂井市ではこのマイナンバーカードをどのように出されているのか教えていただきたい。
		井上会長	この数字がどういう数字なのかっていうことですかね。
		委員	国では来年度中に全部やるということですよ。坂井市の数字は低いんじゃないかと思う。坂井市はどうやっていくのか。
		井上会長	この数字よりも、これから 100 に向かって本当にいくのかどうかというところにちょっと疑問があるということですね。 そのあたりはどうですか。
		事務局	67.9 パーセントという数字については、令和 5 年 3 月末時点でのマイナンバーカード交付率となっております。所管課におきましては、企業やまちづくり協議会、その他のイベント等に職員が出張しまして、そこで窓口を開きましてそこで申請をできるような取り組みを令和 4 年度には行っております。今後も所管の方では交付率を上げるような取り組みを行っていくと聞いております。
		副市長	委員のご質問の内容ですけれども、参考として令和 4 年度末の時点で、坂井市の 67.9 パーセントは、全国平均や県平均と比べるといずれも上回っているという状況でございました。直近の数字についてはまた確認してお知らせしたいと思います。先ほど説明しましたように、企業やそれぞれの地区での、臨時のカードの申込受付などの特設会場を設けまして、交付の努力もしてまいりました。そういった成果もこの数字に表れているとご理解いただけたらなと思っております。 また、国のポイントの付与も一定の効果がありましたので、そういうところに表れてきているとご理解いただければありがたいと思います。

II 会議	【協議事項】 2 坂井市行政改革 の取組状況について	委員	坂井市では書き間違いはなかったんですか。
		副市長	報道されてましたマイナンバーのベンダー、富士通関係の会社とかいくつかあるんですが、坂井市は報道されていた会社ではなくてちがうところでございましたので、そういった間違いはありませんでした。
		井上会長	他にいかがでしょうか。
		委員	坂井市の下水の方の普及率は 100 パーセントなんですか。下水がまだつながっていない地区があるってことですか。 せっかく下水がつながっているのに、利用していないところがあるところはまだ市内にも結構あると思うんですけどもそこら辺に働きかけるのは難しいとは思いますが、せっかくの設備なので。下水につなげると料金が上がるからつながないという理由でつなげていないという話をときどき聞くものですから。当然上下水道料金の収納強化もさることながら、やっぱり下水はせっかくきたのだから、使っていただくという働きかけもしていかないと 45 番と 46 番とは別に考えていかないといけないということで質問させていただいたんです。
		副市長	質問の下水道の普及率はもう 100 パーセント近くで市内ほとんどカバーされているといった状況です。ただご指摘があったように接続されていないというおうちの方が、一定程度あるといったところで、毎年そちらへ加入の促進の活動は継続してやっているんですが、まだご理解いただけない方も残っているというような状況でございます。引き続き努力していきたいと思っております。
		財政課長	ちなみに普及率は 99.6 パーセントということで、100 パーセントに近い数字になっています。
		井上会長	下水に関して言うと、まだ坂井市はそこまでの段階じゃないかもしれませんが、人口がもっと減ってくると、元々下水が普及していたところに下水を使う人がどんどん減ってくると、今度は下水自体が経営的にもたなくなってきた、逆に下水をやめてしまうっていうことが出てくるという話もあるんですよ。 接続の促進も大事なことだと思うんですけども、人口が減らないよう努力しながら、接続の促進を図っていくというように思います。それは、やっていただくことは当然必要だなと思いました。 他にいかがでしょうか。
		財務部長	ちょっと先ほどの話に戻るんですが、マイナンバーカードの普及率の数字のデータをもらいましたので、普及率は 79.78 パーセント、これは 10 月 29 日現在の数字になります。約 8 割にきているところでございます。

II 会議	【協議事項】 2 坂井市行政改革 の取組状況について	井上会長	<p>ありがとうございます。結構上がってきてるんですね。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
		委員	<p>43 番の土地の売却についてお尋ねしますが、どうしても今、人口が減っているとか、子育て世帯が坂井市から違うところに家を建てるって問題に対して、まだまだ坂井市が所有している土地がいろんなところに点在してるようなところを、もう少し売却を進めていただいて住宅開発をすることによって、若い世代がそこに移り住む、そこに例えば狭い道に面した人が、広いところへ移るとかということでもう少し売却を進めていただいたらありがたいと思いますが、もしそれに基準があって、こういう条件がないとできないっていうようなことがありましたら、教えていただきたいと思います。</p>
		財務部長	<p>土地の売却というところでございますが、合併してかなり市の土地というか、もともと町で有していた土地はかなりありました。おっしゃられるように、売却を大分進めてまいりまして、今は売却できない土地が大分残ってきた、いろいろ条件の厳しい土地が増えてきたと。</p> <p>先ほど紹介しました春江の中筋団地跡地の売却が、ここしばらくの間で大きなお話ということで、令和 4 年、5 年、6 年の 3 期に分けて、3 年間で全部で 36 区画を販売すると、そういった中でも売却が可能な土地に関しては、公売にかけたり、また近隣の方で購入希望される方に働きかけたりしながら進めているといったような状況でございます。</p>
		井上会長	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>私の方から質問させていただきたいんですが、先ほど 38 番のところで、税外債権管理の適正化と徴収強化という話がありました。37 番は市税ですよ。38 番は税外なので、どちらも適正に取り組んでいくということだと思うんですけども、税と税外債権の徴収で、特に税外債権の困難なところっていうのはどんなところなのかとちょっと気になったので、当然払う人が感じてる意識の違いもあると思いますし、債権回収するための手法もですね、もしかしたら少し違う部分があるのかと思って、もし何かご存じのことありましたらお願いします。</p>
		財務部長	<p>税と税外債権ということで、それぞれ根拠法が違うところがあると思いますが、税の方は基準がはっきりしていると、税外債権は私債権的なものも含まれていますので、税の方が法的には厳しく取り立てできるというようなことは違いとしてあると思われま。</p> <p>ただ全般的に、徴収、収納というところで申し上げます。</p>

II 会議	【協議事項】 2 坂井市行政改革 の取組状況について	財務部長	すと、相続で相続人がいない場合とか、相続放棄されたとか。また、最近ですと技能実習生がどこかいなくなってしまうとかいうことで、徴収不能が見受けられるなど傾向としてはそういったようなことが最近増えてきたと思っております。
		井上会長	他にどなたかございますでしょうか。 順調に進んでいるものも当然これからまた進めていただくことになると思いますし、また現在取り組み中のものに関しても、新たにこういう取り組み提案があると言ったようなことなどでも結構かと思えます。 ここには出ていないことかもしれませんが、今生成系 AI を自治体の仕事にも使うかどうかということに関して、いろんな議論が行われていたり、ガイドラインを策定したりということがあるのかなと思うんですね。これは RPA もそうですけど、業務の効率化に大きく貢献することになるんじゃないかと思うので、いろいろ進化をしている中で、注意しながら、積極的に活用していくというスタンスかと思うんですけど、現状のとらえ方とかどんな形で議論されているのかについてちょっと教えていただけますでしょうか。
		財務部長	生成系 AI ということで、一般的にはチャット GPT とかグーグルバードであるとかがあるかと思えます。 坂井市の方でも若手の方の政策提言というか、調査といったものを行いまして、その中で職員の利用状況等を取りまとめまして、今後の活用の提案をうけているところでもあります。 正式なガイドラインは、まだ市の方では策定できておりませんが、今年度中に作業を進めまして有効活用というところを考えております。 定型的なフォーマットに関してはすごく強いなというような印象を受けておりますし、私自身も使っております1年前の精度と今とは大分精度が上がってきていると感じておりますので、今後業務改善、効率化といったことに大きく期待しているところですし、他の自治体においても活用されているところも見受けられますので、そういうところも参考にしながら、活用を図ってまいりたいと考えております。
		井上会長	確か RPA のときは嶺北の自治体でたしか研究会とかそういったものを行ったようなことを聞いたんですけども、この生成系 AI についてはそういったことまではされてないんですね。
		財務部長	RPA については福井市を中心とした連携中枢都市圏といったいくつかの自治体が入った中で、共同でやります



II 会議	【協議事項】 2 坂井市行政改革 の取組状況について	財務部長	<p>して、ソフトウェアや事業を選んだりしながら進めてまいりました。</p> <p>生成系 AI に関しましては、早く取り組んだようなところもありまして、越前市さんとかは早く取り組んでおりますが、ちょっとばらつきがありまして共同では進めておりません。情報交換とかそういう場面を活かしてすすめてまいりたいと考えております。</p>
		井上会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
		委員	<p>J R が第三セクターになって、来年から多分かなりの負担が増えてくるんだと思うんですけど、それに見合う、見合うかどうか分からないですけど、丸岡駅とか春江駅の活用策を連携して考えていかないと支出ばかりが増えていくことになると思うんですけど、そのへんはどうなんですか。</p>
		財務部長	<p>三セクのハピラインになるということで、坂井市には丸岡駅、春江駅の 2 つの駅があるわけですが、駅舎の改修、周辺整備といったところを今後進めていこうと考えております。</p> <p>時期的なところはまだお示しできていないところがございますが、そういった中で例えば春江駅であれば、地域の方、専門家の方を交えましたワークショップであったり、意見交換会を順次進めようとしております。</p> <p>そういうところで意見をもらいながら、今後どのような駅、また駅周辺の整備、春江駅ですと送迎が混雑しているというようなご意見もありますので、どのようにしたら解消できるかというところの情報を集め、意見をもらいながら、活性化、にぎわいづくりを目指していこうと考えております。</p>
		委員	<p>第三セクター化することでの市としての負担額は確定しているんですか。</p>
		副市長	<p>今、手元に数字は持っていないんですが、JR から資産の移譲を受けるという時点での試算の数字はおおよそ確定しています。</p> <p>今のハピラインの関係、それから坂井市には直接関わりはないんですが、福鉄の関係、あるいはえち鉄の関係、新幹線絡みの二次交通の確保とか、いろんな面で連携は非常に重要な視点になっています。</p> <p>ハピラインの関係で言いますと、福井市が町屋の方へ新しく駅を作るといような報道もされていますし、市の議会の方でも、新しい駅ができないかといったようなご質問をいただいておりますが、ハピラインの会社の考え方としましては投資額以上に収益が見込める一帯</p>

II 会議	【協議事項】 2 坂井市行政改革 の取組状況について	副市長	<p>のところでないとなかなか手をつけていただけないといったことがございますので、その辺の試算の段階まで坂井市のエリア内の候補地は至っていないということで、まったく進んでないというのが実情であります。</p> <p>ただ、将来的にはまたそういったことも出てくるかなと思っております。</p>
		井上会長	他にいかがでしょうか。
		委員	<p>関係するかどうか分からないんですが、この前国民休暇村に泊まりましたら、県外から来られているお客さんが、帰りの道案内を聞いていて、バスがあるんですが、あわら湯のまち駅、芦原温泉駅まったくよくわからない。バスの運転手さんが一生懸命説明するんですけど、全然頭に入ってこない。どちらもあわら市の問題なのかなと思うんですが、もうひとつ今度 JR の芦原温泉駅、新幹線とか、またハピラインの芦原温泉駅までであると、その説明が難しいなと思ひまして、せっかく三国まできて気持ちよく帰るのに、年齢的にもそこまで年をとっている方ではないんですけどよくわからない。なにかいい改善点ありましたら考えていただきたいと思ひます。</p>
		副市長	<p>いただいた意見をまた関係部署に伝えまして、丁寧にわかりやすい説明ができるような方策を考えていけるように対応していきたいと思ひます。</p>
		井上会長	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>ではこちらの議題につきましては以上とさせていただきます。協議事項は以上となります。</p>
【その他】 空き家対策事業について	井上会長	<p>続きましてその他ということで、空き家対策事業についてとなります。</p> <p>資料3です。事務局より説明をお願いします。</p>	
	移住定住推進課長	<p>総合政策部移住定住推進課長の三上と申します。今年4月から移住定住推進課内に空家対策室を設けまして、空き家対策に取り組んでございます。</p> <p>後ほど、室長の方から空き家の現状、調査結果等を踏まえてご説明をさせていただきます。先ほどご質問がありました移住の実績についてですが、令和4年度に県若しくは坂井市がなんらかの支援等をして定住された方は98名、その前の年が58名ですので40人増となっております。</p> <p>また部内に結婚をサポートする課もできまして、結婚のサポート、また空き家の対策等も含めまして、最終的には移住定住につなげていこうというような施策でございます。</p> <p>結婚の方は、クーポン券とか応援券の申請件数ですが</p>	

II会議	【その他】 空き家対策事業について	移住定住推進課長	<p>11月1日現在で121件の申請をいただいております。また、住宅支援もございまして、住宅の取得であったり、リフォーム、または家賃補助といったようなものも新婚家庭にはあるわけなんですけど、これは現在のところ45件の相談を受けていて、家をどうしようかというようなところに丁寧に沿うようになっています。</p> <p>では、空き家の説明をさせていただきます。</p>
		空家対策室長	【資料3】空き家対策事業についての説明
		井上会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>空き家対策は大変重要な課題かと思えます。この説明に関しまして、ご質問ご意見ございましたらお願いいたします。</p>
		井上会長	<p>私からさせていただきたいと思えますけども、予防が最優先と、本当その通りだと思ってます。アンケート結果はすでに空き家になってしまったケースについてのアンケートだと思うんですけど、今は住んでいるけどもうちょっとすると空き家になってしまう可能性があるところをどうやって防いでいくのかも重要課題だと思っております。</p> <p>そのためには、行政がその段階で手を出すことはなかなか難しいのかもしれませんが、やはりご家族の方が元気なうちに、そういったことも含めてこれからのことを話し合っていくことが必要じゃないということはいろいろ書籍を見ると書いてあるんですけども、そういったことを例えば啓発することも一つの方法かと思うんです。</p> <p>予防策に関しては、補助金の周知はもちろんそうですけども、空き家のことを話し合うきっかけづくりが大事かと思うんですけど、そのあたりどう考えているか教えていただけますでしょうか。</p>
		空家対策室長	<p>おっしゃる通り補助金の周知も大切ではあって、補助金の周知はさせていただきます。でも、アンケートの調査結果はすでにあるもので、今からどうしようって言ってもなかなか話し合いもしづらい状況になって、今住んでいる家もこれからどうなるかも分からないっていう前段階で、早い段階で家族で話し合ってもらうために、これから啓発を進めていこうと考えているところです。小冊子を今作成してまして、家族でそういう話し合いをできるきっかけづくりをするためのものを配ろうと思っております。</p>
		井上会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
委員	町別に見ますと、三国町がものすごく多いと思うので		

II 会議	【その他】 空き家対策事業について	委員	すが、ひょっとして町別の人口減少はさっきの資料にはなかったんですが、三国町が一番減少しているのかなと思うのですが、その関係はどうなんでしょうか。
		財政課長	各町における減少の資料は持ち合わせておりませんが、坂井市で策定している人口推計では三国町は 2040 年には 16, 000 人程になると推定しているところです。
		委員	原因はわかりますか。
		財務部長	原因は難しいと思いますが、立地条件など平地と丘陵地であるとか、福井市を中心とした生活圏における移動距離といったところももしかしたら要因かもしれません。それに手をこまねいているのではなく、空家対策室における推進であったり、町家をオーベルジュとして活用するなど、民間活力を導入して進めている状況です。市としても危機感を持ちながら対策を行っているところです。
		井上会長	<p>これを見ると空き家自体の数は減っている形になっていますので、空き家が増えていることが問題というふうに考えると、空き家が減ったことはいいことのように思えるかもしれませんが、旧三国町時代の人口が大きく減っている中で住める場所も減ってしまっているという意味ではこれからの人口減少を食い止めるためのストックがなくなりつつあるという見方もできていると思います。</p> <p>当然それは質の問題があるので、すぐに使用可能なものは残しつつ、修繕費が必要なものは修繕して、除却するものは除却していく必要があると思うのですけれども。</p> <p>どちらにしてもどういう方向性を持って取り組んでいったらいいのかは、その旧町ごとの特徴にも結構関わってくるのかなと思っておりまして、統計上当然こういう結果に表現、表示の仕方が必要だと思いますけれども、数字の上げ下げというよりもやっぱり中身に合った対策をやっていただくのが大事かと思っています。</p> <p>今回の調査、昨年 11 月までに行われたようですが、それから 1 年ぐらい経過して空家対策室ができていの中で、これから本格的、体系的に空家対策を進めていくことになると思うのですが、それに向けての戦略とか計画づくりなどはもうやっておられるのでしょうか。</p>
空家対策室長	空家対策計画がちょうど改定時期になりまして、そこに盛り込む予定ではあるのですが、将来的には、市ができないところを担ってもらうための、民間業者との中間的なところとか、つなげてもらえるようなところができるといいなっているのを、計画にも盛り込み、一括し		

II 会議	【その他】 空き家対策事業について	空家対策室長	て相談を受けられるような窓口づくり、総合窓口を作っ ていけたらと思っています。
		井上会長	計画の改定と窓口の立ち上げを進めておられるという ことですね。 その他いかがでしょうか。
		委員	空き家になる一番大きな原因は、自分の子どもや直系 の子どもが県内や近くにいない、これが一番多いです。 以前は定年になったら帰ってくる方が何人かおられたん ですが最近では帰ってこない。90 歳前後のおばあちゃん が一人で暮らしているケースが多いです。 一つは、古い住宅の解体費用を相続財産から控除する 制度があったらいいと思います。 もう一つは、近くの地区では二世帯同居が 100% のと ころがあります。そういうところを調査してみたらどう かだと思います。何か新しいことが見えるのではないでし ょうか。
		井上会長	今の時代に合っているかは難しいところですが、ヒン トにはなろうかと思っています。坂井市内や近隣の自治体で も空家対策がうまくいった事例はあると思うので、そこ からいろんなヒントが出ますし、個別の情報収集に努め て頂けたらと思います。
		委員	子どもが県外に出て行った事例もあるが、子どもが別 居する事例も多く、空家予備軍が相当あります。 新興住宅地であったところが、高齢者になってきてい るので一挙にそういうところがあります。世帯数が減っ て空き家が増えています。なので、解体の費用の補助が あるといいと思います。 あと 10 年も経つと大変なことになると思います。
		井上会長	支援制度の要望もたくさんできていますので、現在 ある制度の周知だけではなく、必要なものの拡充も必要 な方策であると思います。
		移住定住推進課 長	お手元の資料の補助制度の欄に空家除却支援の補助と いうのがあります。 こちらは国の方向性的に安全性重視で危険を伴うと ころに使える制度でして、今すぐ処分しようと思われてい る方がすぐ使えるものではないところは、我々担当とし ても非常に厳しいところです。やはりご自分の家はご自 分で処分していただきたいなど、そこに補助をだすと なると相当なものになっていきます。これから政策を考 える上でいろんな意味合いを考えて、どういう方策をと るかを決めていかななくてはならないと思っています。 国もまずは何とかご自分で解体等していただくことを 基本としています。我々としてはそこを市民の方にどう

II会議	【その他】 空き家対策事業について	移住定住推進課 長	お知らせできるか、お葬式の費用は何とかするという終活を考える際にお家の一つ入れてもらったり、地区でやっているサロン等でお知らせしていただいたり、リーフレットを配布してお家のことを考えてもらえるきっかけを作っていたらと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
		井上会長	<p>他よろしいでしょうか。</p> <p>空き家対策は、これから非常に重要な課題になってくるだろうと思いますので、引き続き進めていただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは本日の議事は以上となりますが、その他皆様から何かご質問ご意見等ございますでしょうか。</p> <p>それでは特に何もなければ、協議をこれで終了したいと思います。</p> <p>円滑な進行にご協力いただきまして、どうもありがとうございました。</p>
III閉会		財政課長	<p>会長ありがとうございました。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>